

本州でも路面が凍結するところも出てきます。
標高の高い所へ行く際はスタッドレスタイヤに交換を。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)

 <p>ぶつかる!</p>	<p>この映像の訴求ポイントは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎前走車や対向車が止まった時は何か理由があります。 ◎安易な追い越し・すり抜けは事故の元。 <p>類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。</p> <hr/> <hr/> <hr/>
 <p>角材落とした大馬鹿者はどこのどいつじゃ!</p>	<p>この映像の訴求ポイントは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎回避行動が多重事故を引き起こすこともあります。 ◎発進前に荷物の固定やドアロックを今一度確認しましょう。 <p>類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。</p> <hr/> <hr/> <hr/>
 <p>左見て</p>	<p>この映像の訴求ポイントは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎郊外の道路はついついスピードを出し過ぎですが… ◎これが夜間だったらどうなるか? 想像してみましよう。 <p>類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。</p> <hr/> <hr/> <hr/>
 <p>信号守れよ このバカちんがー!!!</p>	<p>この映像の訴求ポイントは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎衝突回避は急ブレーキが基本です。 ◎信号は全員が守る…と全員が信じているから機能します。 <p>類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。</p> <hr/> <hr/> <hr/>
 <p>危ないよ</p>	<p>この映像の訴求ポイントは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎事故が起きて、まずすべきことは、安全確保です。 ◎ガードレールの内側に待避。追突されれば車内も危険です。 <p>類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。</p> <hr/> <hr/> <hr/>

【コラム】夜間のヘッドライトは上向きが原則です

ヘッドライトが知らずに上向き（ハイビームとも言います）になっていて、対向車からのパッシングで気付いた…なんて経験はありませんか？

確かにヘッドライトが上向きだと、対向車側のドライバーの目に直接ヘッドライトの強い光が当たりますので、前方が見えづらくなり、運転に大きな支障が生じます。ですから、対向車がいるときは、必ずライトを下向きにするのがマナーです。

しかし、対向車がないときは、原則としてヘッドライトは上向きで点灯して走行します。特に街灯が設置されていないような郊外の暗い道路では、ヘッドライトが下向きだと、路上の障害物や歩行者に気付くのが遅れ、悲惨な事故につながる恐れがあります。

ヘッドライトの照射範囲は、上向きと下向きで大きな差があります。上向きの際の照射範囲は約100メートル、下向きの際の照射範囲は約40メートルと言われています。時速60kmの時の制動距離はおよそ20メートルですが、ライトで現れた障害物や歩行者を認識して急ブレーキをかけるまでには通常1～2秒ほどかかります。このブレーキをかけるまでにクルマが進む距離（空走距離と言います）は時速60kmですとおよそ16～33メートル。ですから、暗い夜道を下向きライトで走行中に車道上の障害物や歩行者と出遭ったとすると、ブレーキをかけても間に合わない可能性が高いのです。

最近の新車に装備されているヘッドライトは、ライトの光量が上がった分、光軸や上に漏れる光をカットするなどして照射範囲がくっきりと分かれるようになっています。ヘッドライトが下向きだと、目の前の路面状況はよく把握できますが、いざ路上の障害物や歩行者が現れたときにブレーキが間に合わず、衝突してしまう恐れがあります。郊外の暗い道路を走る時は、必ずヘッドライトを上向きにして、対向車や路側に歩行者がいるときはこまめに下向きに切り替える運転が求められます。



上の写真は、前方40メートルの位置に置いた障害物^(※)を、最新型のヘッドライトを使い、上向き（左）・下向き（右）で照射したときの様子です。下向きライトでは障害物は闇に紛れて視認できません。

(※) 障害物は、高さ152センチ×幅86センチの黒色に着色した段ボール箱の山。